

ふだん着の鎌倉

「富士山」は日本人の心の友！ 師走の忙しさを忘れる心温まる光景

2008.12



携帯サイトでもご覧いただけます
<http://itoday.jp/>

PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

「おたのしみにお住まいですか?」「鎌倉です」「いいところにお住まいなんですね」

ここまではよくある会話。続いて…「ところで鎌倉から富士山が見えるんですよ」というと「えっ?」と返ってくることしばしば。鎌倉からはだいぶ距離があるので、富士山が見えるのは意外なことのようにです。

日本人にとって富士山は特別な存在。日本一高い山というだけでなくその形の美しさ、雄大さが好かれる大きな理由なのではないでしょうか。

今月はそんな富士山に注目して「ふだん着らしく眺めてみることにします」。

日本各地には「〇〇富士」とよばれる富士山と同じような形の山がいくつもあります。なんとその数310以上! 有名なところでは蝦夷富士(羊蹄山)、薩摩富士(開聞岳)など、挙げればきりがありません。近いところではハイキングに訪れる人が多い三浦富士(横須賀市・一八三m)というもの。このように日本人の心の中には常に富士山があるといっても過言ではないようです。

また「富士見」という地名も各地でよく見かけます。その昔、富士山が見えたことからそのような名がついたといわれています。今ではビルが建ち並んだりして見えなくなってしまう

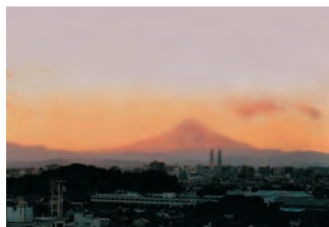
ところもありますが「昔はここから富士山が見えたんだなあ」と思いをはせるのも楽しいものです。

さて、鎌倉に「富士見」は?

ぱっと思いつくのが湘南モノレール「富士見町」駅。大船から乗ってひとつ目の駅です。大船を出発したモノレールの進行方向右側の窓から外を見ると、大船観音はじめ西の広い空を眺めることができます。それがまた

すがすがしい光景なのですが、目的の富士山は駅ホームに立って建物の間からかるうじて見えます。どちらかというとその一つ先の湘南町屋駅にさしかかるとあたりで見える富士山の方が絶景。特に夕焼けに浮かび上がる美しい姿はお見事というほかありません。

湘南町屋駅までやってきたのでその近くにある「富士見」もご紹介しましょう。駅から梶原の住宅街に向かい、山の上ロータリーを過ぎた



当たりに「富士見坂」という坂があります。残念ながら今はそこから富士山は見られません。そのあたりは小高い山になっているので昔はさぞかし美しい富士が見られたのではないのでしょうか。

その近くには「富士見台」というバス停もありますし、深沢から藤沢に向かう県道には「富士見ヶ丘」(藤沢市川名)というバス停も。

こんな身近に「富士見」があつたとは…。日常の中でついつい見逃してしまいがちな光景、そして昔は見えただであろう光景…。

師走の忙しい中、ふと立ち止まってそんなことに思いを寄せて一瞬ポツツとしてみるのもいいかもしれません。

締めくくりに、やはりこの富士の姿をご紹介しておかなくてはならないでしょう。鎌倉から見える富士山としては王道中の王道、まさに定番です。

稲村ガ崎から見る富士山と江ノ島のコラボはまさに絵はがきのよう。昼の光景も夕景も実に見事です。夏に比べて空気が透き通っているこの季節の方がより美しく見えます。もちろん冬は雪をいたたいいでいるのでよりいっそう絵になりますね。

今年の十二月は富士山で一年の締めといきましょう!

